

2019年1月20日

課題名：当院CCUに入室した急性心不全患者のリハビリテーション進行状況の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、急性心不全患者の歩行自立可否の要因、急性期リハビリテーションの進行状況の現状を調べることによってリハビリテーションプログラムの再考を行い、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年3月から2018年7月までの間に、急性心不全にて当院CCUに入室した65歳以上の高齢心不全であると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

患者背景

性別 年齢 主たる病因（心不全の原因） 既往歴 喫煙歴 入院前の日常生活動作（ADL:activities of daily living） 居住形態 介護保険の有無 入院時のクリニカルシナリオ（CS:clinical scenario） 心エコー検査の値（LVEF、E/e'） 再入院歴の有無 入院時・退院時の各採血の値（Hb:ヘモグロビン Alb:血清アルブミン Cr:クレアチニン BUN:血清尿素窒素 CRP:c 反応性蛋白 BNP:脳性ナトリウム利尿ペプチド 栄養関連指標であるGNRI:geriatric nutritional risk index） 在院日数

リハビリテーション進行状況

PT（理学療法）開始日 各進行状況（端坐位日 立位日 歩行開始日 歩行自立日） 退院時の身体機能（膝伸展筋力値（%BW） 握力 5m 速度 6分間歩行距離） 開始時・終了時の機能的自立度評価表（FIM:functional independence measure）

◆研究方法◆

本研究は過去の診療等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 花田 真嘉

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明